



はすね

令和6年10月2日
板橋区立蓮根小学校
10月号

教育目標： **や**さしく **か**しこく **た**くましく
蓮根学びのエリア（志村三中 志村六小 蓮根二小 蓮根小）



時代とともにマイナーチェンジ

副校長 菅野 大基

残暑もおさまり、朝晩は涼しい日がだんだんと増えてきました。蓮根小学校の校庭では、今週末に開催される運動会練習が佳境をむかえ、子どもたちの元気な声と音楽が聞こえるようになってきました。

私は子ども時代、一番楽しみにしていた行事が運動会でした。体を動かすことが好きだったこともあり、校庭に全学年児童が集まり、多くの観衆に見られながらの競技や表現、独特な雰囲気は今でも鮮明に覚えています。前夜には、徒競走で一等賞がとれるように、脚を入念に洗うことが習慣でした。

当たり前ですが毎年行われている日本の運動会、いつから始まったのを調べてみると、明治時代にさかのぼります。19世紀のイギリスでのスポーツイベントを参考にして、日本の学校に導入されたものです。この時期、日本は明治維新を経て、西洋の文化や技術を取り入れようとする動きが盛んで、教育改革の一環として、スポーツや体育も積極的に取り入れられました。学校行事としての運動会は、身体を健康を促進するだけでなく、規律やチームワークを学ぶ場として重要視されました。この形が日本全国に広まり、特に小学校では子どもたちの成長や発達に重要な行事として定着したようです。

現代の運動会は、コロナ禍では学年別開催、熱中症対策として午前中で終了する半日開催など、ひと昔の運動会とはかなり様変わりをしてきました。

今年度の蓮根小学校の運動会も、昨年よりも種目を少なくし、午前中のみの開催となります。子どもたちの健康面を第一に考え、普段の学習の成果を見ていただく場として、熟慮を重ねての開催となります。会場の関係上、保護者席は立ち見のみとなります。演技学年を優先していただき、お互いに譲り合いながらご参観ください。優先席も同様に、事前に申請された方同士での心配りをお願いいたします。当日は、子どもたちの輝く姿を存分にご覧いただけたと思います。どうぞ、ご期待ください。

蓮根小の授業研究

研究推進部

昨年度に引き続き今年度も学級活動の授業研究を行っています。テーマも昨年度と同じ「社会性を育む学級活動～みんなで輝く話し合いを通して～」です。

昨年度の授業研究を通して、議題も「お楽しみ会」だけでなく、学級のルールをよりよくしようとするものや、みんなが気持ちよく過ごせるための工夫など様々な議題が出てくるようになりました。今年度は授業研究をさらに深め、学級活動の中で子どもたちがどのように成長していくか、また子どもたちの成長のために私たち教員がどのような関わりをしていくか、ねらいを明らかにして指導に当たっています。

縦割り(ニコハス)班活動

特別活動部

蓮根小学校では、異学年交流活動として1～6年生で構成される縦割り班での活動を大切にしています。低学年の児童は、高学年のお兄さんお姉さんと一緒に活動することで、私たちも高学年のように立派なお兄さんお姉さんのようになりたいという憧れや将来への期待感をもつことができます。高学年の児童は、低学年のお世話をしたりみんなで遊ぶための計画、運営を行ったりすることで、誰かの役に立つ喜びを感じ自己有用感を高めることができます。本校ではニコハス班による話し合い活動、集会活動や学校行事など活躍できる場を多く設定しています。1学期は、異学年で協力して椅子取りゲームやおにごっこをすることができました。9月は、運動会に向けて旗に自分の頑張りたい姿を絵に描いています。上学年が下学年を手伝ったり、楽しく話をしたりして取り組むことができます。

一日のはじまりは「あいさつ」から

生活指導部

本校のあいさつ奨励プロジェクト

①にこにこあいさつ強化月間（6月・11月・2月）

気持ちのよいあいさつをしている児童には、にこにこワッペンが渡されます。さらなる意欲をもって、すすんであいさつを心がける蓮根っ子に育てていきます。

②学年ごとの輪番制によるあいさつ当番

月ごとに学年でのあいさつ当番を決めています。該当学年の代表児童で、登校時に校門付近で全校児童にあいさつをしています。

来月は、いよいよあいさつ強化月間です。お互いを大切にしあう心を育ていくために、我々教職員一同も率先して気持ちのよいあいさつを心がけていきます。ご家庭でもぜひ、積極的にあいさつを試みましょう。